

はじめに

本報告書は、農林水産省経営局女性・就農課の要請を受けて実施した平成 15 年度の行政対応特別研究「高齢者が農業、農村地域に果たす役割の影響分析」（略称「高齢者」プロジェクト）の研究成果である。当プロジェクト研究の問題意識と課題は、次の通りである。

我が国の農村地域において、高齢化が都市部に先んじて進行している。この状況のなかで、農業生産や農村社会の活性化に果たす高齢者の役割が重要になってきている。そこで当プロジェクト研究は、以下の 3 点の課題の解明をめざした。

- ① 農業従事及び農業生産への貢献度において、高齢者が占めるシェアはどの程度か。
- ② JA 活動や集落で、農業・福祉・文化・社会の維持・向上に果たす高齢者の役割とは何か。
- ③ 欧州農村において、高齢化がどのような状況にあり、その対策が如何なるものか。

上記の研究の推進において、次のような方針及び姿勢で臨んだ。

- (A) 統計データがあれば、統計手法を適用して定量的に把握すること。
- (B) 高齢者の地域社会活動は、その実態を知るために農村聞き取り調査を実施すること。
- (C) 欧州諸国の高齢化状況と対策は、当プロジェクト独自の調査ではなく、参加研究員が別目的で行った海外調査に追加する形で情報を収集・整理したもの、である。

本報告書は、3 部により構成されている。

「Ⅰ部 高齢者の農業従事状況と社会活動指標」は、上記①と②の課題を、(A) 統計を適用して数値的に解明した第 1, 2 章から構成される。

「Ⅱ部 日本農村の農村高齢者の実態」は、上記②の課題を(B)実態調査という方法により解明することをめざした。その内訳だが、第 3 章は、直系家族が維持されている長野県の都市近郊集落において、高齢化が家族構造に及ぼす変容メカニズムを理論と実態面から明らかにした。第 4, 5 章は、中山間地ながら地域活性化に成功して I ターン者により人口減少が抑制されつつある京都府美山町集落での、暮らしぶりからみた高齢者と地域社会との関係性について論及している。第 6 章は、愛媛・徳島において高齢者が農業生産に果たす貢献度シェアや定年帰農者の実態を報告した。なお、Ⅱ部補論は、高齢化した離島漁村における地域社会維持のあり方を事例報告した論文の概要紹介である。

「Ⅲ部 欧州農村の高齢者の現状」は、上記③の課題に関する(C)資料の収集と整理をめざした。内訳として、スウェーデン農村における高齢化の状況と農政のあり方を紹介した第 7 章と、フランス農政の青年就農対策を簡単に紹介したⅢ部補論とにより構成される。

今回、本報告書作成にご協力いただいた客員研究員&調査員各位、統計データ利用に協力いただいた厚生労働省と全国農協中央会担当者、聞き取り調査を快く受け入れていただいた長野県松本市、京都府美山町、愛媛県及び徳島県の各市町村、集落関係者に対して、厚く御礼申し上げたい。

平成 17 年 7 月

農林水産政策研究所